

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

肺がん患者における胸腔鏡手術後の在院日数に影響する因子

1. 研究の対象

2020年04月01日 から2023年01月31日 までの間に、東海大学医学部附属病院呼吸器外科で胸腔鏡手術を受けた肺がん患者

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2024年03月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的 下記の診療情報を利用し、胸腔鏡手術を受ける肺がん患者の術後在院日数に影響を及ぼしている要因を明らかにすることを目的とした研究です。

方法 当院において胸腔鏡手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに肺がん患者の術後在院日数に影響を及ぼしている要因について調べます。この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの個人を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、個人の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

この研究で得られた情報は研究終了後5年または研究結果発表後3年のいずれか遅い時期に廃棄します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴の有無、同居家族の有無、基礎疾患の有無（高血圧、糖尿病、心疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患、他のがん）、基礎疾患への治療の有無（全身ステロイド療法、血液透析）、肺機能検査（FEV1.0%、%VC、肺活量）、術式、出血量、輸液量、術前後採血値（Hb 値・ALB 値）、胸部レントゲンあるいは CT 上の異常所見の有無、胸腔ドレーン留置期間、離床までの日数、術後の 1 日当たり病棟歩行周数（9A 病棟内 1 周約 150m と想定）等

試料：該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

この研究は、院内の看護研究発表会および国内の医療・看護系学会にて発表を予定しています。他機関への情報提供はありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院

（電話：代表 0463-93-1121 内線：8911 E-mail：hajime.s@tokai.ac.jp）

研究責任者 看護部 看護師 齋藤 元

問い合わせ担当者 看護部 看護師 齋藤 元